



長浜ロータリークラブ

国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム

RI2650地区ガバナー 刀根 莊兵衛

長浜ロータリークラブ会長 竹下 敏隆

人類に
奉仕するロータリー

夢を語り、
現在を刷新

未来をみつめ・
ロータリーを楽しもう

第3125回
例会

2017年5月22日(月) 12:30~

「新旧クラブ協議会」

担当 会長・幹事



- 開 会 点 鐘
- ロ ー タ リ ー ソ ン グ
- 来 客 紹 介
- 食 事 ・ (飲 談)
- 会 務 報 告
- 各 委 員 会 報 告
- 会 長 の 時 間
- プ ロ グ ラ ム
- 閉 会 点 鐘

バーチャルリアリティで ロータリー活動の影響を伝える

ロータリーがグーグルと提携し、善意の活動が世界に与える影響を体験できるバーチャルリアリティ映像を制作。ロータリーはこの度、「ポリオ」と「平和」という2つのテーマを扱った3分間のバーチャルリアリティ映像を制作しました。360度のこの映像は、見る人があたかもその場にいるような感覚を与えます。紛争地域の一人の子どもの生活を扱った映像で、ささやかな思いやりの行為がいかに大きな影響を与えているかを、現場の目線で体験できます。

この映像の初披露会が、アトランタで開かれるロータリー国際大会中、6月13日に行われます。その後は、10月24日の「世界ポリオデー」に向けて広く公開される予定です。



分の列に並んで鑑賞してきました。一級品の作品の鑑賞の後は、当クラブメンバーご紹介でイタリア料理とワインのお店「Vena」でキャビアなどの高級素材を使った豪華な料理とワインを堪能しました。初夏の気持ちの良い天気にも恵まれ、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。



長浜ローターアクト クラブ報告

第1059回
「最終・卒業例会」
日時:2017年6月17日(土)
会場:北ピコホテルグライエ
アリーナ
時間:19:00登録開始
19:30開会点鐘
21:30閉会点鐘
登録料:7000円
主旨:今年度の活動を振り返り反省するとともに、今年度で卒業するメンバーを送り出す。また、参加メンバーと親睦を語り、次年度へつなげる例会とする。

第3回 四季めぐりの会

5月11日(木)第3回四季めぐりの会を開催いたしました。今回は12名の参加を頂き、朝9時に出発しました。京都国立博物館の開館120周年記念開催の海北友松展を待ち時間20

隣接クラブプログラム

- 5月23日(火) / 長浜北RC
「ライラ報告」
- 5月25日(木) / 彦根RC
「ちょっと気になる木の話」
- 5月26日(金) / 長浜東RC
「滋賀県政、
未来に向けての政策」

会報・記録	大和田 稔	会計	高橋 政之	副 監 査	原馬 良典	副 幹 事	伊藤 寿彦	青少年奉仕「理事」	上田 聡	国際奉仕「理事」	馬場 鋭州	社会奉仕「理事」	松本 茂之	職業奉仕「理事」	岸本 一郎	ロータリー「理事」	小堀 仁	奉仕プロジェクト「理事」	菅内 猛之	クラブ奉仕「理事」	川北 克彦	クラブ広報「理事」	北川 次夫	副会長「理事」	北村 隆信	会長「理事」	山口 忠義	副会長「理事」	関谷 松男	幹 事	永井 茂雄	計 算 士	眞杉 義和	会 長	竹下 敏隆
-------	-------	----	-------	-------	-------	-------	-------	-----------	------	----------	-------	----------	-------	----------	-------	-----------	------	--------------	-------	-----------	-------	-----------	-------	---------	-------	--------	-------	---------	-------	-----	-------	-------	-------	-----	-------

2016-17年度
理事・役員

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

会社と自分自身について

講師 明文舎印刷商事株式会社 代表取締役社長 中村 彰男 君



明文舎印刷の初代は中村兼三郎、私の祖父になります。皆様にお世話になりました中村尚の父になります。兼三郎の父、鉄次郎は八幡中山町で大工をしておりました。とても正直な方で仏の鉄とよばれていたようです。私の住居は北小の近くにあります。

歴史をひもといていくと、曾祖父(鉄次郎)が住んでいた場所は、現在私が住んでいる所から目と鼻の先にあつたのです。ご縁とは不思議だと思えます。祖父兼三郎は、明文舎印刷所という所で働いておりました。オーナーの事情で明文舎の権利を全て買い取り初代が兼三郎という事になっております。

父は、兼三郎の次男として生まれました。京都で過ごした大学生時代から色々な印刷の仕事を集めていました。一方、長男は長浜で印刷機械を動かしていましたが田舎では仕事が集まりません。そこで京都へ印刷機を持って出て、京都で明文舎印刷が動き出します。しかし、祖父母は長浜におりますので結局次男の尚が長浜に残り明文舎印刷商事として袂を分かつ事になりました。紆余曲折がございましたが、父はコンピューターで使われる連続伝票という仕事を始めた事で現在の明文舎の基礎を組み立ててくれました。

引き継いだ大切な事は、ご縁と筋(道理)を大切にする。そのような事だったと思えます。

父がコンピューター用紙の印刷を始めたとき、滋賀県でコンピューターを導入している会社は殆どありませんでした。そこで、大阪や東京など都会の会社から仕事を頂くようになります。下請けというポジションで仕事をしていると、メリットとデメリットがあります。

下請けは溢れた仕事をやります。世の中に仕事が溢れなくなると他社様が出来ない仕事をする以外、出番が無くなっていったのが事実です。

既存の加工機械を購入しても、その機械を発注元が買われれば、それでお終いという事です。ある時、同世代の人間とうまがあつて一緒に機械の開発に入ります。世の中に無い機械を作りましたので変わった仕事が集まりました。

その時に、楽しみながら開発を続けるというDNAが会社の中に醸成されました。

また、色々な人のご縁で、私はパーソナルコンピューターの周辺商品へ進出しました。

結局私が学んだ事は、人と出会う頻度を多くする、その出会いを大切にすること。このような事では無かつたかと思えます。

また、自社の出番はどこにあるのかを常日頃考えようと、みんなで話しをしています。

儲ける事はとても大切ですが、続けられる事は、唯一楽しい事だけの様な気がします。

面倒な事に挑戦する事を楽しいと感じるDNAはこのまま残していきたいものです。

今は、籾内さんのお陰で着物の世界に誘っていただき、楽しい人生を過ごしております。

明文舎のキャッチフレーズ「好奇心は未来へつながる原動力」私の生き様もこのようにありたいと思えます。皆様に色々お誘い頂きながら楽しく人生を過ごしたいと思っております。今後とも、どうぞ宜しくお願いします。

◎他クラブ例会変更

ビジター有 五個荘能登川 6/12 守山 6/16

ビジター無 びわ湖八幡 6/1 6/15 湖南 6/1

◆出席報告

月日・回	内容	会員 総数	免除 会員	事前 出席	事後 出席	ホーム クラブ	出席率
4/24	3122	64	7	6	10	41	95.00%
5/8	3123	63	7	7	1	51	96.72%
5/15	3124	63	7	2		51	86.67%

例会プログラム予定

●次回 5月29日

「職場訪問例会(移動例会)」

講師 舎那院 住職 関口 仁 様
担当 職業奉仕委員会

●次々回 6月5日

「イニシエーションスピーチ/ライラ報告」

講師 岩田 始 君
川北塗料(株)ご勤務 宮崎 大希 氏
担当 プログラム・出席委員会/青少年奉仕委員会

・・・童心にかえろう・・・肩書をおとそう・・・年令を忘れよう・・・